

RV160およびRV260ルータでのダイナミックDNSの設定

目的

この記事では、RV160およびRV260ルータでダイナミックDNSを設定する方法について説明します。

概要

ほとんどの小規模企業のオーナーは、固定（スタティック）パブリックIPアドレスに対して高い料金を支払いたくありませんが、ユーザがサイトにアクセスするための一貫した方法を望んでいます。たとえば、ビジネスのドメイン名がwww.example.comの場合、ユーザはWebブラウザでサイトにアクセスするために入力します。

ドメインネームシステム(DNS)サーバは、ドメイン名とそれに対応するIPアドレス（またはアドレス）に関する情報を保存します。これにより、ユーザが訪問するすべてのサイトの実際のIPアドレスを記憶する時間と労力が節約されます。www.google.comは、216.58.216.164を覚えておく必要がある代わりに覚えるのが非常に簡単です。Googleなどの大企業は、永続的なIPアドレスを維持します。

永続的（静的）なIPアドレスを支払わないと、企業のIPアドレスが変更され、ドメイン名にリンクされなくなります。これは、インターネットサービスプロバイダー(ISP)が（パブリック）ワイドエリアネットワーク(WAN)のIPアドレスを担当するため、実行します。この問題の解決策は、ダイナミックDNSにあります。

DDNSとも呼ばれるダイナミックDNSは、ホスト名、アドレス、またはその他の情報のアクティブな設定でDNS内のサーバを自動的に更新します。つまり、DDNSは固定ドメイン名をダイナミックWAN IPアドレスに割り当てます。お客様はドメイン名で検索を継続し、サイトに中断なくアクセスできます。

該当するデバイス

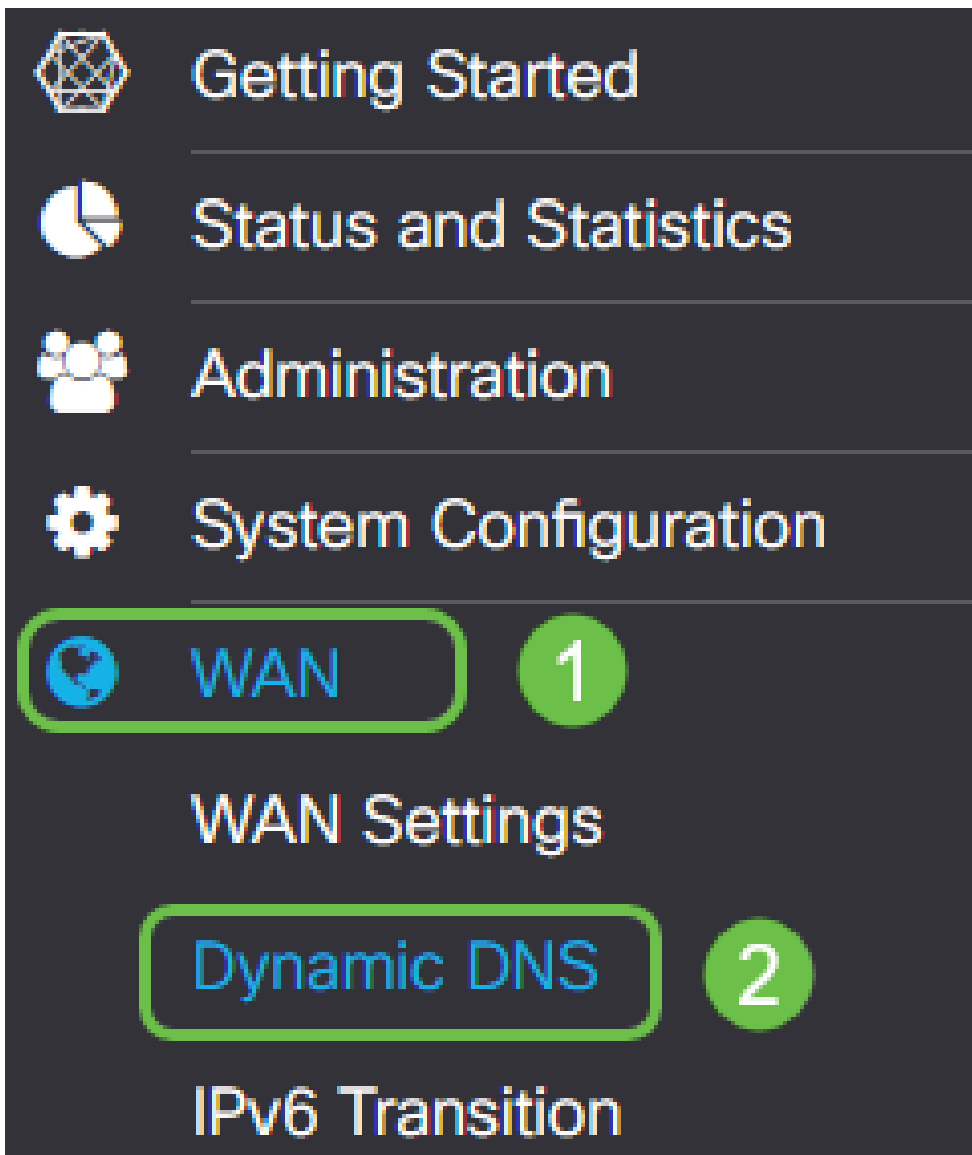
- RV160
- RV260

[Software Version]

- 1.0.0.13

ダイナミックDNSの設定

ステップ1:[WAN] > [Dynamic DNS]を選択します。



ステップ2:[Dynamic DNS Table]で、ダイナミックDNSポリシーに追加するインターフェイスを選択します。

  RV160W-router564F71

Dynamic DNS

Dynamic DNS Table



Interface	Fully Qualified Domain Name	Provider
<input checked="" type="checkbox"/> WAN	-	-

ステップ3: 鉛筆アイコンをクリックして編集します。



Dynamic DNS

Dynamic DNS Table



Interface	Fully Qualified Domain Name	Provider
<input checked="" type="checkbox"/> WAN	-	-

ステップ4:[Enable] をオンにして、ポリシー設定を有効にします。

Edit Dynamic DNS

Enable this Dynamic DNS policy: Enable

Interface: WAN

Provider:

Username:

Password:

Show Password: Enable

Fully Qualified Domain Name:

Send Updates to Dynamic DNS provider periodically: Enable

ステップ5：このサービスを利用するには、アカウントを作成し、次に示すサイトの1つからネットワーク上のいずれかのコンピュータにアプリケーションをインストールする必要があります。このアプリケーションは、割り当てられている現在のIPアドレスを効果的に検索し、ネットワークの情報を保持しているサイトに更新を送信できるように、ほぼ常に使用する必要があります。これはドメイン名を購入できる場所なので、ドメイン名がなければ、両方を1つのサイトから簡単に取得できます。[プロバイダ]ドロップダウンリストからサービスプロバイダの名前を選択します。

Edit Dynamic DNS

Enable this Dynamic DNS policy: Enable

Interface: WAN

Provider:

Username:

Password:

ステップ6:DDNSアカウントのユーザ名とパスワードを入力します。パスワードを表示する

には、[Show Password]フィールドで[Enable]をオンにします。

Edit Dynamic DNS

Enable this Dynamic DNS policy: Enable

Interface: WAN

Provider: ChangelP.com

Username: 1 user_name

Password: 2 ●●●●●●

Show Password: Enable

Fully Qualified Domain Name:

Send Updates to Dynamic DNS provider periodically: Enable

ステップ7：完全修飾ドメイン名を入力します。

Edit Dynamic DNS

Enable this Dynamic DNS policy: Enable

Interface: WAN

Provider: ChangelP.com

Username: user_name

Password: ●●●●●●

Show Password: Enable

Fully Qualified Domain Name: www.example.com

Send Updates to Dynamic DNS provider periodically: Enable

ステップ8:[Enable] をオンにして、ダイナミックDNSプロバイダーへの更新を受信し、更新を送信する頻度を選択します。

Edit Dynamic DNS

Enable this Dynamic DNS policy: Enable

Interface: WAN

Provider: ChangelP.com

Username: user_name

Password: ●●●●●●

Show Password: Enable

Fully Qualified Domain Name: www.example.com

Send Updates to Dynamic DNS provider periodically: Enable Every 30 mins

1 2

ステップ9:[Apply]をクリックします。

Edit Dynamic DNS Apply Cancel

Enable this Dynamic DNS policy: Enable

Interface: WAN

Provider: ChangelP.com

Username: user_name

Password: ●●●●●●

Show Password: Enable

Fully Qualified Domain Name: www.example.com

Send Updates to Dynamic DNS provider periodically: Enable Every 30 mins

これで、RV160およびRV260ルータにダイナミックDNSが設定されました。

Cisco Small Business製品に関する記事やディスカッションのトピックについては、[Cisco Small Business Support Community](#)を参照してください。